観光活性化の支援

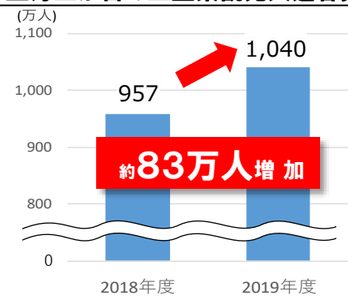
渋滞緩和で観光活性化を支援！

観光行動が変化し観光需要が拡大

観光活性化＜三重県＞

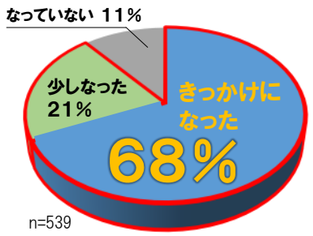
○三重県観光入込客数は開通前の2018年度に比べ2019年度は約83万人増加。
○Webアンケートにおいて、今回の開通が三重県の観光地を訪問するきっかけになったとの回答が、全体の約9割。
○新名神開通後の休日において、愛知県以東から三重県中南部への交通量が最大12%増加。

ゴールデンウィーク、夏休み、正月三が日の三重県観光入込客数



出典：三重県観光局資料
県内主要21施設の下記期間累計比較
ゴールデンウィーク：10日間（2018年は9日間），
夏休み：51日間，正月：3日間

今回の開通は来訪のきっかけとなりましたか？

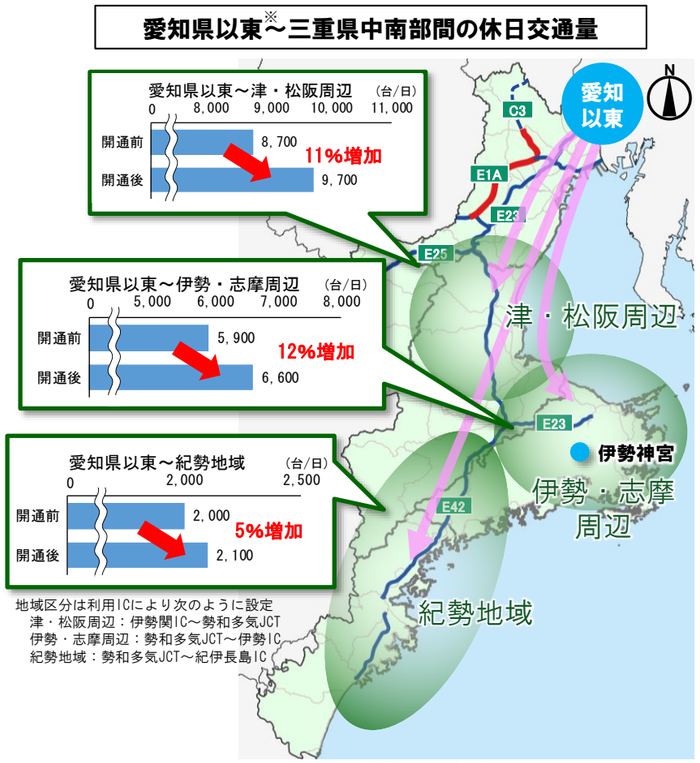


n=539

約９割が開通を来訪のきっかけと回答

出典：国土交通省Webアンケート調査（2019年8月実施）

愛知県以東※～三重県中南部間の休日交通量



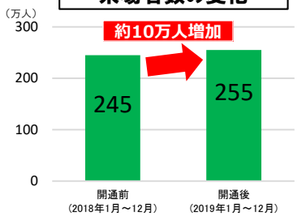
地域区分は利用ICにより次のように設定
津・松阪周辺：伊勢関IC～勢和多気JCT
伊勢・志摩周辺：勢和多気JCT～伊勢IC
紀勢地域：勢和多気JCT～紀伊長島IC

※愛知県以東：愛知県全域及びそれ以東の都道府県
出典：中日本高速道路(株)資料
対象期間　開通前　2018年3月19日～2019年2月1日
　　開通後　2019年3月18日～2020年1月31日

観光活性化＜ゴルフ場＞

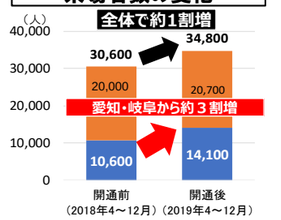
○三重県内のゴルフ場は来場者数が約10万人増加。
○菰野ICに近接する三重カンツリークラブでは全体で約1割、特に愛知・岐阜からの来場者が約3割増加。

三重県内ゴルフ場 来場者数の変化



※三重ゴルフ連盟へのヒアリング調査より

三重カンツリークラブ 来場者数の変化



※三重カンツリークラブへのヒアリング調査より

写真提供：三重カンツリークラブ

観光活性化＜いなべ市＞

○いなべ市の観光施設「にぎわいの森」では、オープン以降約35万人が来場。
○大安ICの名古屋方面からの利用台数は「にぎわいの森」のオープン後、約460台/日増加。

にぎわいの森 最寄りの大安IC

開業後 約35万人 来場 （12月末累計）

写真提供：いなべ市

出典：中日本高速道路（株）資料
対象期間　開通前 2018年3月～2018年4月 土日，開通後 2019年6月～2019年8月 土日
対象車種　軽自動車等・普通車

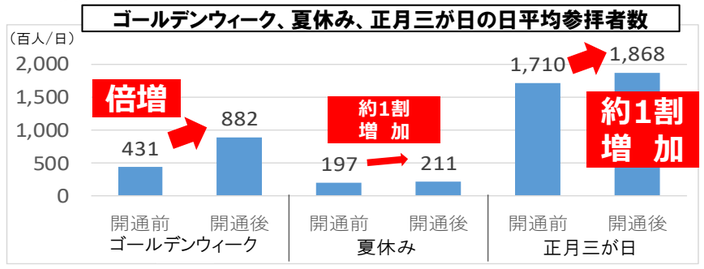
いなべ市役所　観光担当者の声

○東海環状道の開通に合わせて観光拠点として整備した「にぎわいの森」は開業後12月末までに延べ約35万人のお客様が来場しました。
○名古屋方面からも多数のお客様に来ていただいており、東海環状道の大安IC開通との相乗効果を実感しています。

観光活性化　＜行動変化＞

○令和改元で例年以上に多かった伊勢神宮への参拝・初詣客の移動を支援。

ゴールデンウィーク、夏休み、正月三が日の日平均参拝者数



出典：三重県観光局資料　※2018年度及び2019年度の下記期間累計値より、１日平均参拝者数を算出
ゴールデンウィーク：10日間(2018年は9日間)，夏休み：51日間，正月：3日間

観光客の声

○伊勢神宮に長くいられるようになりました。（愛知県　42歳　男性）
○毎回ひどい渋滞を覚悟していたのが、開通後、いつも渋滞していた箇所がスムーズに走行できたので、今後三重県への観光は増えると思います。（岐阜県　55歳　男性）

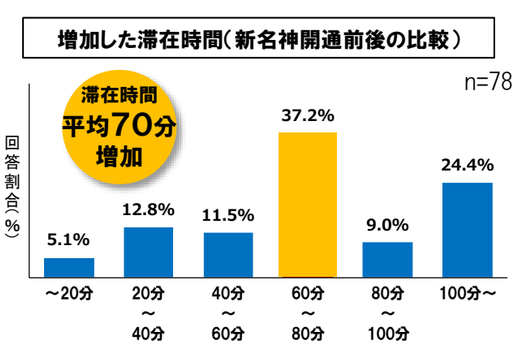
出典：国土交通省Webアンケート調査（2019年8月実施）

○中部圏で屈指の観光スポットである桑名市の複合型観光施設では、東名阪道の渋滞の大幅減少により来訪者の施設滞在時間が平均70分増加。
○新名神の開通によって関西方面からの新たなアクセスルートが形成。

写真提供：ナガシマリゾート

出典：三重県　観光レクリエーション入込客数推計書（2018年）

増加した滞在時間（新名神開通前後の比較）



出典：国土交通省Webアンケート調査（2019年8月実施）